

BS100 シリーズ  
Instruction Manual  
取扱説明書

**KEURIG**  
Keurig Coffee Brewer  
BS100W/R/B/G

**trevie**  
トレビエ

## 【目次】

使用上、安全上のご注意..... P2-3

各部の名称..... P4

初めてお使いになる前に／長期間

お使いにならなかったとき..... P5-6

ご使用方法..... P7-10

お手入れ ..... P10-12

故障かな？と思ったとき..... P13

製品仕様..... P14

保証書..... P14

このたびは、キューリグ BS100 をご購入いただきまして、ありがとうございます。本機は、K カップ®を使ってレギュラーコーヒーをご家庭で手軽に作ることができます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は添付の保証書とともに、大切に保管してください。

## 【使用上、安全上のご注意】

この製品はKカップ®を使用してコーヒーや紅茶を抽出する目的で設計・製造された機械です。安全に製品をご使用いただくため、以下の「ご使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故を未然に防止するために、内容を「警告」と「注意」に区分しています。どちらも安全に関する大切な内容ですので、必ず守ってください。



**警告** 人命または負傷を負うような重大な事故が予想される内容



**注意** 負傷を負うような事故及び物的損害が予想される内容



△マーク：警告・注意を促す内容  
図の中は具体的な内容を表示



⊙マークは禁止行為マークの中や傍に禁止内容を表示



●マークは指示事項マークの中には指示内容を表示

## 警告



**強制** 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差込んでください。差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



**接触禁止** 使用中や使用直後は抽出口に手を触れないでください、火傷の原因になります。



**禁止** 電源コードを無理な方向へ引っ張ったり、無理に折り曲げないでください。（ねじる・束ねる・挟み込む）コードが傷付き破損し、火災・感電の原因になります。



**禁止** 子供や高齢の方の手の届かないところに設置しないでください。子供や高齢の方が使用する場合は保護者の監督の下に使用してください。



**分解禁止** 本製品を分解・改造しないでください。発火、異常動作してけがをすることがあります。



**水濡れ禁止** 本製品を水に浸けたり、水をかけないでください。ショート・感電のおそれがあります。



**電源プラグを抜く** お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。不意に作動して、火傷や感電の原因になります。



**濡れ手禁止** ぬれた手で、電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。ショート・感電のおそれがあります。



**禁止** 電源コードに損傷がある場合は、使用を取りやめキューリグ・エフイーの指定修理センターで修理してください。



**禁止** 抽出中は抽出ヘッドを上げたり、Kカップホルダーカバーを開けたりしないでください。火傷をする危険があります。



**禁止** 本製品をガス台、電気調理台、オーブン等火気のそばで使用しないでください。引火して火災の原因になります。



**電源プラグを抜く** 長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

## 【使用上・安全上のご注意】

### 警告



電源は100Vの定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用したり100V以上の電圧で使用すると発熱による火災の原因になります。



禁止

この抽出機はKカップ®を使用する目的で設計・製造された機械です。それ以外の目的で本製品を使用しないでください。やけどやけが、抽出器の故障の原因となります。

### 注意



禁止

本体に通電中や使用後はしばらくの間、本体を動かさないでください。お湯がこぼれて、やけどの原因になることがあります。



禁止

本製品を不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。転倒して水がこぼれたり、敷物の変色・変形の原因になります。



禁止

壁や家具の近くで本製品を使用しないでください。壁や家具が変色することがあります。



プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから抜く時は、必ず電源プラグを持って引抜いてください。コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。



禁止

本製品の本体や内部に殺菌用アルコール・洗剤・殺虫剤スプレー等を直接噴霧しないでください。製品の変形・変色・故障の原因になります。



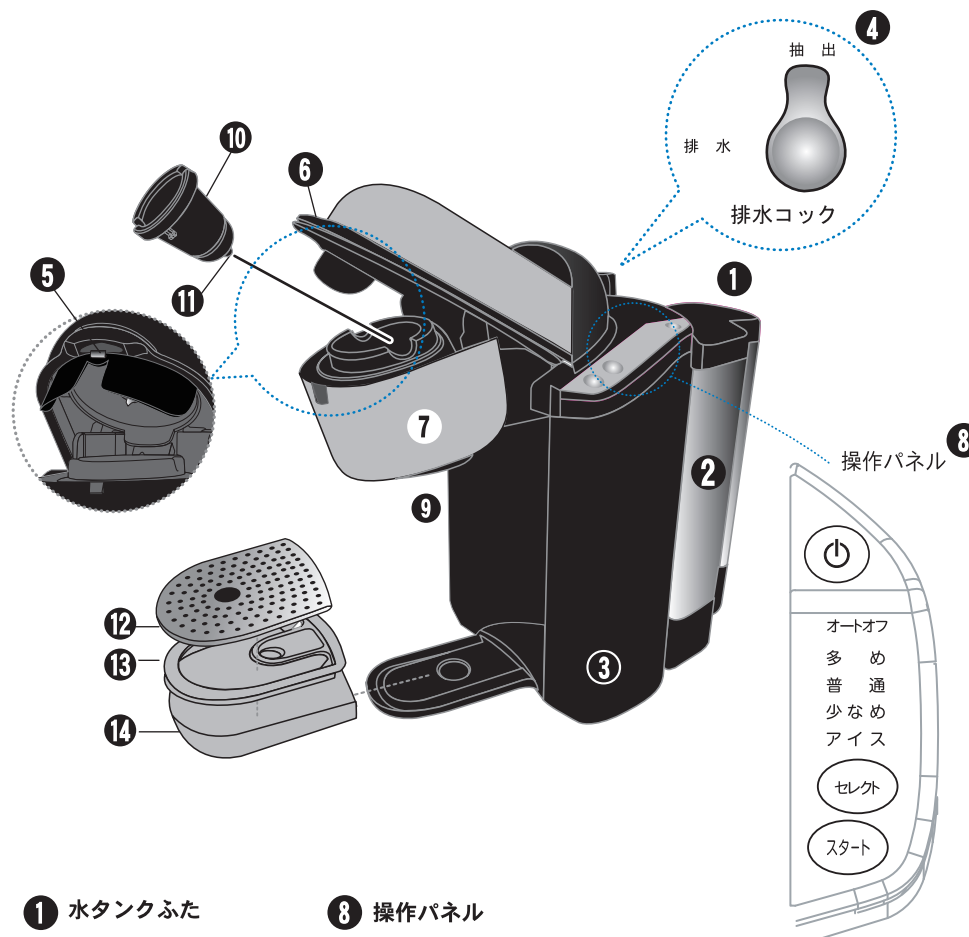
禁止

本体内部のカルキ洗浄時を除いて、水タンクには水以外のものを入れないでください。製品の故障の原因になることがあります。

注意：抽出ヘッド内部（⑥）と、Kカップホルダー（⑩）の底部の2箇所に、Kカップ®（1杯抽出用ポーションカップ）に穴を開けるために、先端の鋭い針が取付いております。けがの原因になりますので、抽出ヘッド内部とKカップホルダー内部に指を入れないでください。

注意：抽出中はKカップ®には熱湯が流れます。やけどの原因になりますので、抽出中は抽出ヘッドを上げて抽出ヘッド内部を開けないでください。

## 【各部の名称】



① 水タンクふた

② 水タンク

③ 本体

④ 排水コック

⑤ 抽出ヘッド開閉ロック

⑥ 抽出ヘッド

⑦ Kカップホルダー収納部

⑧ 操作パネル

⑨ 抽出口

⑩ Kカップホルダー（⑩と⑪を合わせてKカップホルダーセットになります。）

⑪ ファネル

⑫ ドリップトレイ・プレート

⑬ ドリップトレイ・アッパープレート

⑭ ドリップトレイ

## 【初めてお使いになる前に／長期間お使いにならなかったとき】

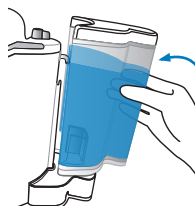
**注意** ！ 抽出機を初めてご使用になるときは、次の作業を行ってください。  
また、長期間ご使用にならなかった抽出機を再びご使用になるときも、同様の作業を行なってください。



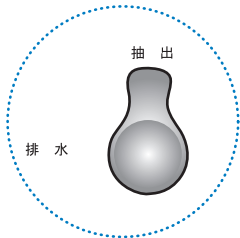
① 水タンクを本体から取り外します(この時、本体よりタンク内に向けられている通気孔／排水孔に接触しないように持ち上げます)。



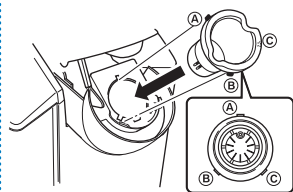
② 水タンク内部を水で洗浄し、水を約 1.0L 入れます。  
※水の入れ過ぎに注意してください。



③ 抽出機本体に水タンクをしっかりとセットします。  
※正確にセットされていないとポンプの誤動作や水もれをおこすことがあります。

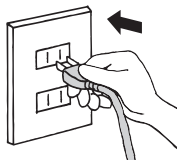


④ 排水コックが「抽出」になっていることを確認します。

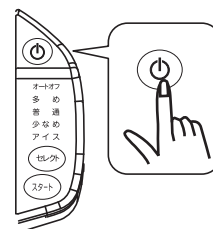


⑤ K カップホルダーが正しくセットされていることを確認します。

※K カップホルダーがセットされていないときは、K カップホルダーを図のように正しくセットしてください。  
※この作業では、K カップホルダーに K カップ® はセットしないでください。



⑥ 電源プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。



⑦ 抽出ヘッドを閉じて操作パネルの電源ボタン「」を押します。

※電源ボタンのオン・オフは抽出ヘッドを閉じて行います。  
※電源ランプ(緑)が点灯します。

⑧ 本体内部のボイラーに、水タンクより水が供給されます(約 350ml)

※操作パネルの表示は、「スタート」「セレクト」各ボタンのランプが点滅し、抽出量表示と「オートオフ」表示が繰り返し点灯します。

※加熱を開始します(加熱時間は 2 分前後／室温や水温により異なります)。

※加熱中、少量の湯が通気孔／排水孔から水タンクへ流れ出ることがありますが、異常ではありません。

**注意** ！

水タンクが空もしくは水が min ラインより下のときは、ボタン操作できません。また、給水完了時に水が min ラインを下まわった場合も抽出が出ませんので、必ず min ライン以上水を入れてください。

※加熱中は操作パネルのすべてのランプが点滅します。

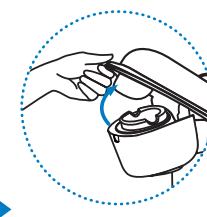


⑨ 加熱が終わると、スタートランプが点灯します。

電源を入れて最初に使用するとき(または、いったん電源をオフにして再び使用するとき)は、ボイラーで適温に加熱されると「ピーピー・・・」と 5 回音でお知らせします。



⑩ ドリフトレイ・プレート の真ん中に、大きめのカップ・マグカップを置きます。



⑪ 抽出量をセレクトスイッチで「多め」にセットし、抽出ヘッドを開閉して、スタートボタンを押して、湯通ししてください。湯通しされたお湯は捨ててください。以上の操作を 3 回以上繰り返すことをお勧めします。  
※約 200CC 程度のお湯が抽出されます。

※この際、K カップ® はセットしないでください。

## 【ご使用方法】－抽出方法

抽出量目安(多め：約 170ml、普通：約 140ml、少なめ：約 120ml、アイス：約 70ml)をお好みで選ぶことができます。

**！ 注意**  
K カップ® に穴を開けるための針が抽出ヘッド上部とK カップホルダー内の底に取付てあります。けがの原因になりますので、K カップ抽出部には指を入れないでください。

**！ 注意**  
K カップ® のシールをはがしたり、シールに穴を開けないでください。

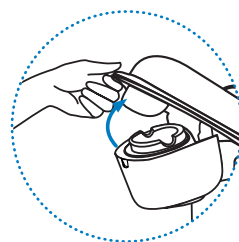
**！ 注意**  
抽出中はK カップホルダーにセットされたK カップ® に熱湯が注がれています。やけどの原因になりますので、抽出中はK カップ抽出部を絶対に開けないでください。

**！ 注意**  
抽出直後のK カップ® は熱くなっています。取り出すときは、十分注意してください。

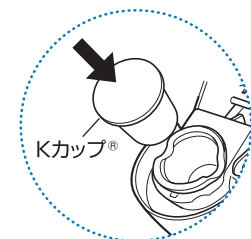


【準備】  
P5 ～ P6 の① ～ ⑨に沿って準備を行ってください。

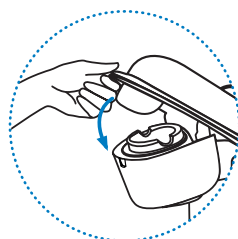
① 抽出ドリフトレイ・プレートとの真ん中に、カップかマグカップを置きます。



② 抽出ヘッド先端部の開閉ロックをつまんで、抽出ヘッドを持ち上げます。図のようにK カップホルダー部が開きます。

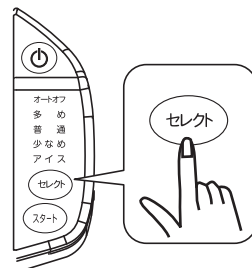


③ K カップホルダーに、お好みのK カップ® を図のようにセットします。



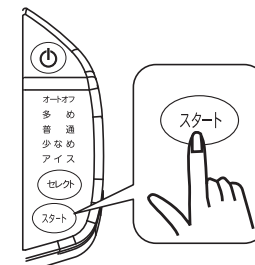
④ 抽出ヘッドはカチンと音がするまで完全に押し下げて、K カップ® 収納部を閉じます。

**！ 注意**  
抽出ヘッドを下げる時は開閉ロックを操作しないでください。

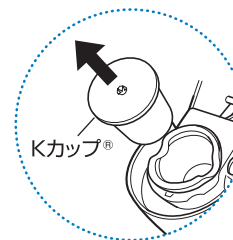


⑤ セレクトボタンを押して、抽出量を選びます。ボタンを押す毎に「アイス」→「少なめ」→「普通」→「多め」の順に点灯を繰り返します。

[抽出量目安] 多め ——— 約 170ml  
普通 ——— 約 140ml  
少なめ ——— 約 120ml  
アイス ——— 約 70ml



⑥ 点滅しているスタートボタンを押して、抽出を行います。点滅が始まって1分間スタートボタンを押さないと点滅が点灯に変わり抽出が出来なくなります。抽出ヘッドの開閉をして、リセットして下さい。



⑦ コーヒーの抽出が終了したら、抽出ヘッドを上げて使用済みのK カップ® を取り出します。

※使用済みのK カップ® は熱くなっていますので、十分に注意してください。

## ロングカップ使用法



ドリフトレイを外してドリフトレイ・アッププレートとドリフトレイ・プレートを本体にセットし、ロングカップを置いてご使用ください。

## 【ご使用方法】

### 抽出の停止

抽出中に、スタートボタンを押すと抽出が停止します。

**！ 注意**  
再度ボタンを押すと、運転を再開します。ただし、適正な量の抽出ができなかったり、次回抽出の量が正しくなかったりする場合もあります。一旦K カップ® を取り出してカラ抽出を行なってください。

### 水の補給

水タンクの水がminラインより下の時や、本体に水タンクがセットされていない時は、操作はできません。操作パネルの表示は「スタート」「セレクト」の各ボタンのランプが点滅し、「オートオフ」と抽出量表示が繰り返し点灯します。



① 水タンクを外し、給水します。



② 本体に水タンクをしっかりとセットします。

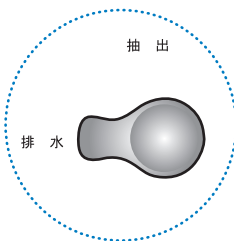
## 【ご使用方法】－ 抽出機の水抜き

抽出機を長時間ご使用にならないときは、次の方法でボイラーの排水を行なってください。

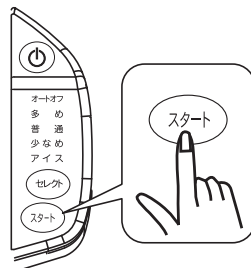


①水タンクを空にして、本体にセットします。

**注意** 必ず水タンクのふたをし  
てください。排水時に熱  
湯が噴き出す場合があり  
ます。



②排水コックを「排水」  
位置にセットします。



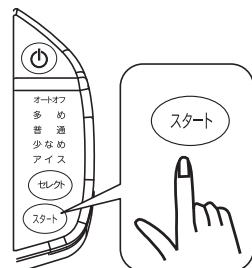
③スタートボタンが点滅  
しているのを確認して、押し続けます。

※ボイラー内の湯(または水)が、排水孔より水タンクに排出されます。

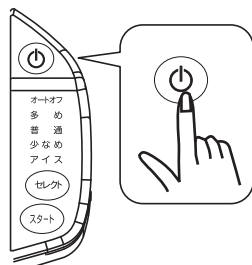
※排水中にスタートボタンから指を離すと、排水を停止します。このとき排水を再始動する場合は、いったん水タンクを空にしてください。

※約 350ml のボイラー内の湯(または水)が排水されます。

※断続的に排出される場合がありますので、完全に水が出なくなるまで押し続けてください。



④排水が終了したら、スタート  
ボタンから指を離して排水運  
転を停止させます。



⑤抽出ヘッドが閉じた状態  
で、抽出機の電源を押しま  
す(消灯)。

**注意**

排出を終了して、電源ボタン  
を切る前に排水切替コック  
を「抽出」にすると、再びボ  
イラー内に給水が始まります。

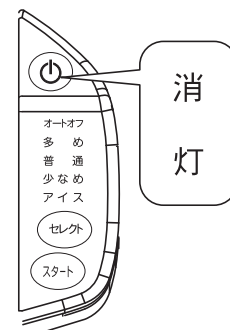
**注意**

排水は、ボイラー内の湯が  
十分に冷めてから行なっ  
てください。熱湯のまま排水  
を行なったり、水タンクに  
湯を放置すると水タンク  
の変形や故障の原因とな  
ることがあります。

## オートオフ機能について

何にも操作しない状態が約 10 分続くと本機の電源が自動的に切れる機能です。

- ・約 10 分以内にセレクト、またはスタートボタンを押すと、その時点から約 10 分後に全ての表示が消灯し、自動的に電源が切れます。
- ・再度ご使用になるときは、電源ボタン「」を押して電源を入れてください。



消  
灯

## 【お手入れ】

抽出機本体 抽出機ボディは、定期的にお手入れしてください。

本体抽出部



①本体ボディの外側は、中性洗  
剤を含ませた布で汚れを拭  
き取ってください。

**注意**

ベンジン・シンナー・  
アルコール等で拭か  
ないでください。塗装が  
はがれたり、変色するこ  
とがあります。



②ドリフトレイ内に、抽出時  
にこぼれた液体が溜ります。  
ドリフトレイとドリフトレイ・  
アッパープレート・ドリフト  
トレイ・プレートは、定期的  
に中性洗剤で洗浄してくだ  
さい。



**注意**

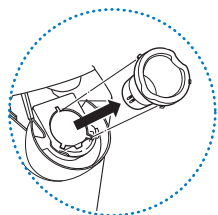
ベンジン・シンナー・アル  
コール等で拭かないでくだ  
さい。

本体抽出部(上針とガスケット)の  
汚れを、中性洗剤を含ませた布で拭  
き取った後、水を絞った布で2度拭  
きしてください。

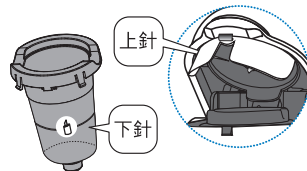
※上針は先端が鋭くついています。  
指や手を怪我しないように十分注意  
してください。

## K カップホルダーセット

(K カップホルダーとファネルのセット)



- ① K カップホルダーセットを本体から取り外し、K カップホルダーからファネルを外してそれぞれ中性洗剤で洗浄してください。洗剤で洗浄した後は、水洗いとすすぎを十分行なって洗剤を完全に洗い流してください。



- ② 下針はK カップホルダー内部の底に取り付けてあります。

※上針は先端が鋭くつがっています。指や手を怪我しないように十分注意してください。

※また、上針がコーヒーの粉や汚れで詰まった場合、細い針金(ゼムクリップなど)を上針に差し込んで取り除いてください。

## 水タンクと水タンクふた

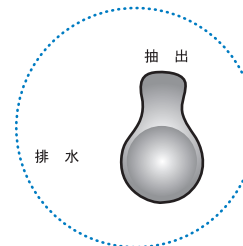


水タンク・水タンクのふたは、中性洗剤で洗浄した後、水洗いによりすすぎを行ってください。水タンクの内側を布等で拭かないでください。布の糸くず等が抽出機内部に混入して故障の原因となります。

水タンク・水タンクふたを食器洗浄機で洗わないでください。高温により、形状が変形したり表面が変質する可能性があります。



- ・準備したキューリグスケールクリーナー LC800 (1 本) と 1L の水を水タンクに入れます。
- ・本体に水タンクをしっかりとセットします。
- ・電源が切れていましたら電源ボタン「」を押して電源を入れてください。



### ②【除去手順】

- ・排水コックを抽出側にセットします。
- ・自動的に水タンク内のキューリグスケールクリーナー LC800 の入った水が給水され沸騰します。
- ・そのまま電源を入れた状態で約 1 時間程度放置してください。途中で電源が切れませんが、そのままの状態でもかまいません。



### ！ 注意

洗浄中に誤って抽出機でコーヒー等の抽出操作をしないように注意してください。

- ・約 1 時間経過したら、電源が切れているので、電源ボタン「」を押して、電源を入れてください。
- ・ドリフトレイの上に陶器製カップを置き、K カップ® をセットしないで抽出運転をしてください。

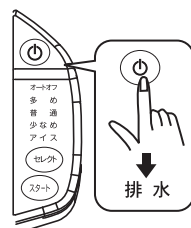
## 【お手入れ】

### 抽出機内部 / 洗浄(水アカ・カルキ除去)の手順

[キューリグ スケール クリーナー LC800 を使用した場合]

ご使用を続けているうちに、水に含まれる鉱物質により抽出機内部にカルシウム(水アカ・カルキ)が蓄積されます。水アカやカルキは無害ですが、放置しておくと抽出機の性能が低下します。これらの物質を定期的に取り除いてください。

※硬質ミネラル水を使用すると、カルシウムの堆積が早くなります。  
※水道水に含まれる鉱物質は、その地域や環境により異なります。

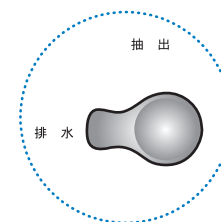


### ①【準備】

- ・別売のキューリグ スケールクリーナー LC800 を 1 本と陶器製カップ(容量 200ml 以上)を用意します。
- ・抽出機の電源を入れ、P9 の抽出機の排出手順に沿って抽出機内部の排水をします。



カップに出てきた液体はそのまま捨て、水タンク内の液体が運転可能な量より少なくなるまで上記操作を繰り返してください。



- ・排水コックを排水側にセットします。スタートボタンを押して、本体内部に残っているお湯を水タンクに排水します。

タンクに排水された液体に水アカ・カルキがないことを確認してください。残留物(カルシウムの破片や粒子)が混入している場合は、本体内の洗浄が不十分ですので、水を追加して上記の動作を繰り返してください。

## 【長期間使用しない時】

長期間使用しないときは、水タンクを空にし、抽出機本体から水を排水してください。低温の場所で抽出機を保管すると、抽出機内部に残った水分が凍結して故障の原因になります。抽出機を温度の低い場所に保管していた場合には、2 時間以上温かい室内に置いてご使用ください。

※再び使用するときは、「初めてお使いになる前に」の作業を行ってください。また、水タンクを水ですすぎ、K カップ® をセットしないで湯通しを 3 回実施してください。

## 【故障かな？と思ったとき】

| こんな時            | 確認いただくところ → 直しかた                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない         | 抽出ヘッドが開いていませんか？→閉じてください。<br>電源プラグが確実に差し込まれていますか？→プラグを差し込み直す。                                                                                                                                                                                                                      |
| 電源が勝手に切れる       | 何にも操作しない状態で約 10 分続くと、電源が自動的に切れるオートオフ機能がついています。<br>→再度ご使用になるときは、電源ボタン「  」を押して電源を入れてください。(P10)<br>水タンクと本体はすき間なくきちんと取り付けられていますか？<br>→しっかりとセットしてください。(P9)                                            |
| 初めて使用したとき、抽出しない | 「初めてお使いになる前に」の「準備」をしましたか？<br>→「初めてお使いになる前に」の「準備」をしてください。(P5)                                                                                                                                                                                                                      |
| 抽出ヘッドが正しく閉まらない  | K カップホルダーが正しくセットされていますか？<br>→ K カップホルダーを正しくセットしてください。(P5)                                                                                                                                                                                                                         |
| 給水しない           | 水タンクに水を min ライン以上入っていますか？<br>→ 水タンクに水を min ライン以上補給してください。(P8)<br>排水コックが抽出になっていますか？<br>→排水コックを抽出にしてください。(P5)                                                                                                                                                                       |
| 抽出しない           | スタートボタンが点滅していますか？<br>→スタートボタンが点滅していることを確認してください。<br>※抽出ヘッドを開閉してリセットしてください。(P6)<br>K カップ® に穴が開いていますか？<br>→ K カップホルダーが正しくセットされているか確かめてください。(P5)<br>排水コックが「抽出」になっていますか？<br>→抽出にしてください。(P8)<br>水タンクに水が十分入っていますか？<br>→水タンクの水の量を確認してください。水タンクに水を min ライン以上補給して、スタートボタンが点滅することを確認してください。 |
| 抽出量が少ない         | K カップホルダーの下針が詰まっていますか？<br>→下針の詰まりを取り除いてください。(P10)<br>K カップ® に穴が開いていますか？<br>→ K カップホルダーが正しくセットされているか確かめてください。(P5)                                                                                                                                                                  |
| 排水ができない         | 排水コックが排水の位置にセットされていますか？<br>→排水の位置に正しくセットされているか確かめてください。(P9)<br>水タンクに水が残っていませんか？→水タンクを空にして、排水動作をしてください。(P9)                                                                                                                                                                        |

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店かキューリグ・カスタマーセンターにご相談ください。

## 【製品仕様】

|          |        |          |                         |
|----------|--------|----------|-------------------------|
| 型 式      | BS100  | 外 形 寸 法  | 幅 180× 奥行 320× 高さ 284mm |
| 消 費 電 力  | 1050W  | 重 量      | 2.4Kg                   |
| 給水タンクの容量 | 1000ml | 電源コードの長さ | 1.5m                    |

## 【保証書】

この保証書は、本書記載内容で無料修理または交換を行うことをお約束するものです。

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 品 番              | BS100 W / R / B / G           |
| 製造番号<br>(シリアル番号) |                               |
| 保証期間             | お買い上げ<br>年 月 日 から <b>1 年間</b> |
| ★<br>お<br>客<br>様 | ご住所                           |
|                  | お名前<br>(ふりがな)                 |
|                  | T E L                         |
| 販売店              |                               |

★印に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理いたします。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、及び不当修理や改造による故障及び損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・風災害・異常電圧・公害・塩害・ガス害・指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災地変による故障及び損傷。
  - (ニ) 一般用以外(たとえば温室暖房や車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
  - (ホ) 別売品、消耗品の摩耗・損傷・紛失。
  - (ヘ) 製造番号(シリアル番号)の改変及び取り外した製品。
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を変えられた場合。
  - (チ) 本書の指示がない場合。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。  
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間は製造中止後 5 年間です。